

2001年1月1日

21世紀 明けましておめでとうございます。

一年の計は元旦にあり！

そうです21世紀の計は今年1年にあるんです。何かにチャレンジするにはいいチャンスですネ。

今、裏磐梯は雪景色で、ネイチャースキー、スノートレッキング等など冬の遊びは何でもありのスノーパラダイスになっています。のんびり休暇村コースでアニマルトラッキングを楽しむのもいいし、五色沼コースで「なんでこの沼青いのかな??」なんてのもいいですよ。

冬は寒いから家にいようなんてもったいない。寒い時だから楽しいことがいっぱいあるんです。

さあ、冬も もくもく に集合！（もく）

2001年1月17日

12月の雪不足が嘘のような元日からの大雪で、各新聞も”会津地方雪で孤立”なんて見出しが出てしまいましたが、いやー、本当によく降りました。

高速は止まるし、列車は止まるしで、本当に孤立状態でした。でも、その様な時にも関わらず裏磐梯に来てくれた皆様この場おかりてお礼申しあげます。

と、いう訳で雪の心配は無しです。曾原湖も凍結して湖上散歩も大丈夫だし、五色沼、銅沼の各コースもベストな状態です。

初心者に人気の休暇村コース、中瀬沼もフカフカ雪です。

さあ、本格的なシーズンはこれからです。おもいきり楽しみましょう。（もく）

2001年1月21日

朝は晴れてたのに昼の今、吹雪に変わっています。また積もりそう。

今シーズンは、12月の雪が少なくて、クロカンできるかなあ…と心配してましたが、1月に入ったとたん降る降る!!スキー、スノーシュー、ボードの人、どんとこい!!です。

そして1月の寒さがけっこう厳しくて、たかはし宅は水道凍結。ふろがま破裂。湯わかし器こわれる。洗たく機使用不能。

体の方もしもやけ重傷、虫歯も痛い(これは寒さのせいじゃないか)。ああ冬だなあ!

そうそう、わかさぎ釣りの人も急増。松原湖もほとんど凍ってます。（まき）

2001年2月4日



2時間トライアル大会が開催された。

朝7:30の気温-7℃小雪混じる冷たい風、なびく雲、青空に白い磐梯山、サラサラの雪原。

うん、けっこう上出来な天気。

休暇村磐梯高原内の3kmコースを2時間でどれだけ走れるか、自分との勝負。

8才の子供や70代の男性、いろんな人がクロスカントリースキーのこの大会に参加する。

お散歩クロカンばかりしている私とは、無縁の世界だったけど、もくさんと知り合ってから裏方を手伝っている。主催者たちの個性がわかるこの大会はとてもおもしろい。

参加者たちの“晴の舞台”らしい明るさもいい。

「今年も頼むぞ」と声をかけられ、やってみて、やっぱりおもしろかった。

大会実行委員長のオコトバ。「明るいクロカンをやろうぜ」とりあえず、黄色い帽子にしてみるか?あ、ちがう?(まき)

2001年2月18日

今日はあったかかった。なんせプラスの1℃だ。

0℃以上だけど、シャラシャラした雪が1日じゅう降っていた。この雪は少し重いので、クロ

カンの足の運びも重くなる。

とは言え、今年に入ってからどかどか降り積もった雪が2月に入ってだいぶ落ちついて、コース外に出てくるぶんくらいしかもぐらない。ひざまでのラッセルから解放されて、いよいよ楽しいクロカンのシーズンになった。うれしい。

桧原湖もがっちり凍ってるし、どこでも行けるぞ。と、いう一方でヤナギの芽吹きもはじまって、春のきざしもみられるこのごろなのです。(まき)

2001年2月23日

これが2月の天気かい?というようなむちゃくちゃな上天気が3日も続いている。新聞にも3~4月の陽気ですと書いてある。

風はおだやか、日射しもポカポカ、春だよもう。

2月21日なんて、Tシャツでクロカンしててちょうどいいくらいだった。あのコンディションで初クロカンやった人は、クロカン好きになることまちがいなし。青空、白い磐梯山、動物の足跡いっぱい。安達太良山も吾妻連峰もくっきりみえていた。日に日に雪はしまってくるし、これからはツアーがたのしい!!

ほてった体に冷たい空気。う～ん、たまりません。(まき)

2001年2月26日

先週の半ばの暖かさはどこへやら、きのう今日は再び氷点下7°Cの寒さが戻ってきました。

いったん暖かいのに体が慣れてしまったので、この寒さは本気でサツム~~~~~イ。でもこれが2月の気候なんだよな。

今日のツアーは晴れたり、吹雪いたり、荒れていましたが、時折流れてく雲からのぞく青空の色のきれいなこと。

いつも通ってる林の中にカエデの木があるのですが、幹の途中からツララができていました。「おっ、これはもしや!!」となめてみたら予想どおり甘い。天然メープルシロップアイスキャンディーなのだ。

冬の楽しみがまた1つ。ノドがかわいたらカエデを探そう。(まき)

2001年3月6日

五色沼遊歩道をクロカンで歩いた。

雪が薄汚れている。いや、汚れではなくて「黄砂」だった。モンゴルや中国の黄河流域の砂が強い風に吹き上げられ、上空の偏西風によって日本まできたのだ。

ストックの先で少し雪をかくと表面のすぐ下は白い雪がでてくる。何ていったらいいのかな、コーヒーシャーベットか?う～ん、うまくとえができない。日本海をこえ新潟もすぎて空をとんできた砂たち、すごいよなあ。

ここ3日間、吹雪続き。積雪も多い。

3月の雪は湿って重い。雪かきすると腕力がつくのであった。(まき)



2001年3月19日

この冬はじめての雨は2月28日。夜には雪になって積もった。3月4日も一時雨になったけど、その日から4日間くらい大荒れで猛吹雪となって、黄砂まで降った。

3月15日に次の雨が降った。どしゃ降りの中、お客さんとクロカンのレッスンを1時間した。昼に雪になり、夕方には晴れた。

3月18日も雨。夜半にチラチラ白くなるのがさすが裏磐梯だけれども、それでももう戻ることなく春へ近づいていくなあ、という感が日に日に強くなる。

3月14日に五色沼の途中、川のほとりに1つ、フキノトウをみつけた。

池田君は冬を、雪をおしみつつ、時々1人で走ってるそうだ(もちろんクロカンだ)。(まき)

2001年3月25日

日曜日だからか、春休みだからか、休暇村のショートツアー参加者が23名。今シーズン人で受け持ったなかではいちばん多かった。

ラッキーなことに、この人たち全員と動物がみられました。休暇村のコースをショートカットしてハンノキ林に入ったとき、雪の上をあわてふためく黒くて小さいやつ。ヒミズというモグラの仲間。漢字でかくと「日不見」だって。AM10:45頃でした。(まき)



2001年4月11日

4月4日、風呂場においてある洗濯機に風呂の残り湯を入れた。やった!流れない。洗濯ができるぞ!!

1月、洗濯槽に突然水がたまらなくなってしまったのだ。私を使っているのは二槽式で、水をためるにはダイヤルをひねるという単純なつくりなのだが、ではどこか凍ってだめなのかと思ってお湯を使ってもだめ。あきらめて、3月までは週に1回猪苗代のコインランドリーへ行っていた。

それだけに洗濯機の復活がうれしい。こういうことで春を感じるなんて体験はめったにできることではないだろうなあ。(まき)



2001年4月15日

起きたらいい天気だった。磐梯山も吾妻連峰も安達太良もよく見える。風もおだやか。ふとんを干し、ごはんを食べた。やることはいろいろあるけれど、こんな日はおもてに行きたい。

2週間ぶりにスキーをかく。思ってたって5分後には滑りはじめられるこの環境。しみじみいいとこに住んでるよなあ、と思う。

休暇村へ行くと、クロカンのコースはまだ雪が一面に残っていた。流れ山を登りターンの練習をする。しまっていて表面がちょっとザラメ状の雪でやると自分が上手になった気がする。んー、まあ気のせいでしょう。

所々雪がなくなって茂みがある。中から急に白いものが飛び出した。おっ、ウサギだ。昼寝のじゃまをしてしまったなあ、ごめん(まき)

2001年5月1日

家の窓から見える景色の1割が雪。7割が雪でねてしまった去年のヨシやススキの枯草。あとの2割が緑。

冬じゅう緑だったアカマツの色と春になって出てきたフキノトウ、今日、花が咲きはじめたシロヤナギ。遠くにみえる安達太良山や秋元湖の南側の白布山の雪も少なくなってきた。新緑の季節はあと10日くらいでくるかな。今頃の山歩きはヤブコギがなくて楽しいんだよな。指をくわえてバイトに出かけるG.W.でした。(まき)

2001年5月14日

裏磐梯は新緑のただ中にある。

ベランダからの景色は安達太良山や秋元湖南岸にある白布山が望めるのだけれど、今、色があふれている。

冬から続くアカマツの濃い緑、シロヤナギのやわらかい黄緑、黄色と茶色をまぜたような展葉はアカイタヤ。オオヤマザクラの花は終わり今や赤みのある葉をひろげつつある。カスミザクラの淡いサクラ色と木全体をまっ白にして咲くスモモ。ポプラの仲間のヤマナラシあは未だ葉を落とした状態だ。磐梯山の山肌には残雪。登山道は雪の下にあるようだ。

天気がいい。毎日いきおいよく自然が移っていく。アオジさえずり、ツツドリの声、オオジ

シギの急降下、今朝はオオヨシキリの声もした。春と夏がいつぺんにやってきている。(まき)

2001年5月18日

5月16、17、18日と3日連続で登山をしている。17日は仕事で猫魔ヶ岳から雄国沼そして雄子沢へ下りた。この日はこの上なくいい天気で猫石から雄国沼はもちろん、飯豊が青空にはっきりと白い姿を見せていた。

沼岸のミズバショウがちょうど盛りだった。

16日、18日は両方とも安達太良山を歩いた。2年前の5月にも安達太良山の箕輪山に行っているのだが、雨と強風のとんでもない(でも忘れられない)山行だった。それだけに安達太良山は天気が要、と思っている私である。

16日は本山で小雨に降られたものの、風も弱く、暑くもなく快適に歩けた。鉄山避難小屋とくろがね小屋の下見をした。くろがね小屋への下りは途中残雪を歩いた。ショウジョウバカマがきれいだった。ミネズオウがたくさん咲いていた。

18日は第2位くらいのいい天気。沼尻から沼の平の外輪を1周するルート。水場がなく、脱水ぎみになった。疲労も激しかった。んー、水って大事。(まき)

2001年6月6日

“うらばんだいの都会”と呼ばれる剣が峰地区に引っ越してきたのが去年の10月。なので、この家でむかえるはじめての初夏。

前の蛇平の家は同じ集落の人からも“山奥”と言われる所にあつて、今頃はワラビがどっさり出てきました。ここはどうだろう？

家の前は砂利がひいてあつて車が止めやすいようになってます。その先はほとんど人手の入ってないススキやヤナギの原野になってます。

ある5月の下旬、となりのおじさんがそのヤブに入ってゆっくり、ゆっくり何かを探してました。このペースは山菜採り。数日後、私もヤブに突入。おお太いよ！ワラビだ!!

途中でポッキリ折られてるのはおじさんが採ったのだな。でも大丈夫、まだこれからのびるものもある。親指と人差し指の輪ぐらいの量をとつて、しょうがじょうゆで食べました。うまい。(まき)



2001年6月12日

起きたら8:50だった。天気がよかつた。よし、山歩いてこよう!と、コーヒーだけ飲んで9:30に家を出る。

グランデスキー場内のじゃり道を走り、駐車場へ。

今頃というのは「シダケ採り」の時期で、平日だというのに路肩には車がぎっしりと並んでいる。10人いたら1人が登山ぐらいの割合である。私はその1人である。

デコ平湿原のワタスゲが一齐に白くなつて見事。その向こうには磐梯山と猪苗代湖が見える。

シダケ採りのおちゃんが下山してくる。こういう人は朝早く行って昼頃には帰るのだ。あんのじょう、登山中、登山客には3人しか会わなかつた。

12:12、西大嶺山頂。一切経山、東吾妻、中吾妻、西吾妻、安達太良山、川桁山、磐梯山、猪苗代湖、秋元湖、小野川湖、桧原湖、郡山市、会津若松市、雄国沼、飯豊連峰。山形側は手前にヤブがあつてチラッとだが、米沢市に朝日連峰。なんていい景色なんだ!! 布瀆に向かって下山。イチヨウランが咲いていた。うう、はじめて見た。生きててよかつた。(まき)



2001年6月22日

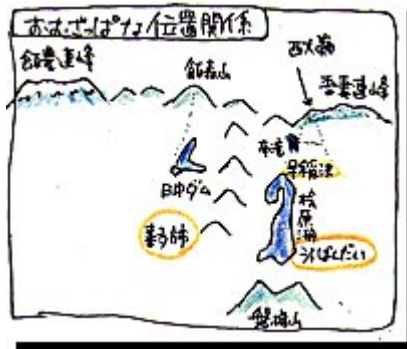
6月21日は何の仕事も入ってなかつた。

1日めいっぱい使えるなら、前から行ってみたかつた飯森山に行ってこれるなあ、と20日の晩に考えた。なにしろ歩行時間が10時間もかかるのだから、朝早く出発しなくちゃ、と思

った。

21日、起きたのは8:30だった。目覚まし時計はちゃんと鳴ったらしいが、全然耳に入らずぐっすり寝ていた。ああ! がっかりしながら、洗濯をして、買い物に行った。そうだ、布滝の所のイチョウラン、写真撮ってこよう。まだ咲いてるか心配だけど、今日より遅くなるよりはいい。

早稲沢から布滝へ向かう。先日西大嶺へ登った時には歩いていないコースだ。オオルリの姿が見られた。コケイランが咲いていた。そしてなんとイチョウランをまた見つけた!! しかもじっくり探すと20個体以上ある!! 昨年もこのころに歩いてたのに目に入ってなかったなあ。布滝の所のイチョウランはもううなだれてしまっていました。(まき)



2001年7月9日

もくもくのすえみさんと早朝から磐梯山に行ってきました。八方台の駐車場から歩きはじめたのが5:50。ブナ林の左側から朝日が斜めに差し込んでました。(下山の時は日差しが反対になっていた)

20分歩いて中の湯で小休止。涼しいけど、もう汗がでてきて、上着をぬぐ。

“すえみさんて、すごい”と思ったのは、とにかく話つづけていること。中の湯すぎの急な登りもしゃべっていた。さすがに弘法清水から山頂への急登では言葉少なになりましたが、でもしゃべっていた。

この登りでジムグリ(ヘビ)がいて、私は気づかずとおり過ぎてたら、「わ〜っ」と言うので戻ってみました。「指切って、指切って!」とすえみさんが人指し指をつきだしているの、「ゆびきり?」と思って指をひっかけたら「違う〜!」ヘビをゆびさした指を、ピシッとたたかないと、指がくさるのだそうです。う〜ん、浦和の子どもはやんなかったぞ、そんなこと。

八方台に戻ったのが10:30。月曜日でしたが下山中40人くらい会いました。もちろん山頂はいちばんのりでした。(まき)

2001年7月16日

先週は仕事と遊びとで週6日山へ行っていた。山岳部ではなかったし、こんなに続けて山へ行ったのははじめて。

その最後の登山は磐梯山、しかもいちばんメジャーな八方台からの往復。OD塾の「御来光登山 in 磐梯山」の企画モノ。

今シーズンはもう何度も歩いたコースだったけど、星空と月明かりの下、ヘッドランプで登るのは初体験。そして裏磐梯のささやかな夜景を見るのも初体験。

弘法清水の手前で空が明るくなっていつのまにか星が見えなくなって、ちょっとあわてて山頂を目指す。4:30の日の出にギリギリ間に合う。西吾妻の方角から赤い丸い太陽が上がってくる。飯豊、朝日、月山、蔵王、吾妻、雄国の山頂が雲の上につきだしている。磐梯山にかかる雲海。こんなのはじめて! すごくよかった。(まき)

2001年7月26日

うらばんだいもスパッと梅雨あけしちゃったようで、雨なしでもう1週間くらいになります。

昼間はカーンと暑いですが、そこは高原の夏、朝晩は天然クーラーです。快適!!

昨日、池田君の「シャワーウォーク」の下見と一緒にきました。レークライン使うと中津川溪谷はあつという間。

ダイビングシューズはいて、服は山用のすぐかわく長ズボンとTシャツ、ライフジャケットで沢をさかのぼる。「気持ちいい〜!!」もう何度言ったかわからない。1時間しかなかったのでまさにかけて足で行ってききましたが、夏はやっぱり水遊びが最高!! 大きなミズナラの木陰で足元水にひたして、川の風にふかれて、のんびり…あーいいなあ。でも私は働く夏なのです。

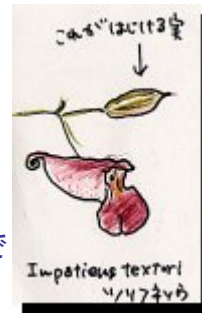
毎日サイトステーション周辺でガイドしてますのでよかったらきて下さいね。(まき)



2001年8月20日

7月28日からはじめた「裏磐梯を散歩しよう!」もあと1週間をのこすところとなった。1ヶ月もやっていると季節もその間に変わってくる。このごろはススキの穂が出てハギの花が咲いている。オオウバユリはほとんど実になったし、ノリウツギも種子ばかり。この企画のはじめころに咲きほこっていたヤマユリもすっかりなりをひそめてしまった。

中瀬沼の展望台ちかくの湿地にツリフネソウが咲いている。実を指で軽くはさむとはじけて種子をとばす。知らないでやってみると驚いてしまう。このごろはこれができるようになってきた。よーく熟してふくらんだ実がいいです。一度おためしあれ。(まき)



2001年9月12日

夏のにぎわいがうそのように静かな9月です。8月から出はじめていたススキの穂が今や主役をはっています。うすむらさきのノコンギク、白いゴマナ、黄色いアキノキリンソウなど、秋のキクの花たちがひっそり咲いています。野生のホップ、カラハナソウが実をつけだしました。そうですあのビールの苦みや芳香づけにかうホップと同じなかが、裏磐梯のあちこちに茂っているのです。地ビール「OHラガー」はこれを使ってつくっているそうです。涼しいけれど寒いほどじゃない、のんびりしにくるにはいい季節です。(まき)



2001年9月27日

9月25日は連休中ずっと晴天続きで、今日もまた晴れ。しかも1日お休み。ようしこんな日には山を歩いてくるのだ!!と思ってたのに、体調くずしぎみのとこへきて、少々働きすぎて家で休養してしまいました。

ひるの11:00ころ、トントンとノックの音。いつも回覧板を持ってくる人が黄色いハタとタスキと大学ノートを持ってきた。説明によると、「交通安全週間」なので、朝の登校時交差点でハタ持って立って下さいとのこと。1人暮らしているとういう地域のかかわりが薄いけど、私はけっこう好きなので26日の7:30に近所の交差点へ行った。

制服着てるオジサン2人に、ホテルマンっぽいオジサンと、フツーのおばさんと私。こんなにいるか〜。

学校に近い2地区の子供が歩いていた。遠くの地区の子供がバス停で下りて、横断歩道を渡った。中間の遠さの家は親が車で送っていた。出勤していく知人も通る。手なんか振っちゃったりして。なかなかおもしろかった。(まき)



2001年11月27日

先日車のバッテリーがあがってしまった。(これは単なる不注意で、半ドアのまま1日ほっとしてしまったのだ)

知人に助けをもらい、そのあと1時間ほど走ってバッテリーを回復させるために「そうだ郡山へ行ってキムチの材料を買ってこよう!」と思い立つ。「花菜」という名の韓国食材専門店であみの塩辛と粉トウガラシを買う。もらいものの1kg以上あるハクサイを刻んでニラと混ぜ、塩もみ。翌日、トウガラシなどを混ぜて漬け込み完了。車の調子は戻りました。キムチは3日したらおいしくなるでしょう。(まき)



2001年12月7日



灰色の雲、白い雲が流れ、すきまから青空ものぞく。細かな雪が風に飛んでいる。日も射す。うつろう天気の日。

この雪は積まるのだろうか...積もらなそう。

ゲレンデも雪を待ち望んでるこのごろ。

11月なかばから降っては消え、降っては消えをくり返し、少しづつ冬へのころがまえはできているんだけど。(例えば、車を停める時、サイドブレーキは引かない。ワイパーは立てるとか。長靴には中敷き入るとか。水道が凍りそうな晩には水を出しっぱなしにしておくとか。雪かきする朝は早起きするとか...)

じれったい12月上旬なのであります。(まき)

2001年12月11日

つい先日、「積まるのかなあ...」と心配していたけれど、気温が思いっきり下がり、10日から吹雪がひどくなり、今日もひき続き降っている。雪は細かい粒で軽く、さらっとしている。今度こそ根雪になるだろう。

スキー場の人も一安心。さあ次は標高800mの裏磐梯一帯の番。クロカンフィールドに雪よつもれ!

うちの前のススキ原も、前に降った雪で倒れた草はもう見えなくなってきた。白い平面が広がっていく。

農家の方が雨やひでりや遅霜に一喜一憂するように、ウィンタースポーツ関係者は雪に一喜一憂している感じ。

寒気団よ、ありがとう。(まき)

2001年12月30日

12月24日から休暇村磐梯高原でのネイチャースキー初心者レッスン&ツアーが開始。今日まで毎日お客さんが来ます。12月中旬にどっさり降って、歩きまわるには十分。それに雪も早くもおちついてきて、ラッセルもくるぶし程度。雪はもちろんパウダースノー。いうことなし。

おまけにびっくりするくらいの晴天が多い。風がない日なんてまるで3月のクロカンやってみるような最高のコンディション。磐梯山はもちろん、安達太良山もキレイです。ウサギには2回お目にかかりました。桧原湖は波うってますが、レンゲ沼はもう上を歩けます。(ただし、慎重にはじっこだけにしていますが)

すでに顔が黒くなりつつあります。(まき)